



今年限りの眺望、それぞれのパノラマ

弘前城本丸東側石垣の修理事業に備え、昨年11月から内濠の埋め立てを開始。今年のさくらまつりでは埋め立てた内濠を開放し、いつもと違う角度から天守や石垣、桜を望むことができました。間近で見上げる天守と石垣、満開の桜の迫力は圧巻で、慣れ親しんだ内濠の水面に立っているかのような幻想的な空間に引き寄せられ、内濠一般開放期間（4月23日～5月6日）には約28万7,000人の入場を記録。今年限りの絶景に多くの人が感動したことでしょう。

ほかにも、満開のソメイヨシノや桜のトンネル、花筏（いかだ）など、訪れた人にとっての『瞬間』にそれぞれが歓喜の声を上げ、その雰囲気浸ったり、写真撮影に没頭したりと、公園内は笑顔であふれかえていました。

※弘前城天守は、8月下旬から曳屋（ひきや）を行う予定。



①下乗橋付近の満開のソメイヨシノ／②鷹丘橋付近の桜を楽しむ観光客ら／③東門と桜／④下から見上げる天守、石垣、桜／⑤まつり開会式／⑥桜を前に記念撮影をする家族／⑦春陽橋からの西濠／⑧内濠から石垣を間近で見る観光客ら／⑨桜の下でひとやすみ／⑩一般開放された本丸の内濠／⑪咲き誇る桜にこぼれる笑顔／⑫桜のトンネルを歩く親子／⑬北の郭からの天守と内濠